

平成18年3月23日、第1回行革審議会 意見

日程6 「北栄町の現状について」での意見

- ・財政状況について、誰でもわかるように町民に説明して欲しい。合併でどうなったのか、具体的にいつからどうなるのかを。
- ・合併時の計画と18年度予算に誤差がある。何が原因か。
「国の三位一体による地方交付税の削減が大きい」と財政担当・助役説明

日程8 「今後の進め方について」での意見

- ・まちづくりは人づくりであり、職員の資質、意識改革が大事。職員が現場主義になること、コスト意識を持つことが必要。職員研修が必要。事務合理化のため、職員提案制度を。重点施策には担当課、人の配置が必要。
- ・職員がよくわかっているはずである、各課個別の問題を洗い出すべきだ。
- ・スリム化には職員からの意見が必要だ。
- ・住民の理解がいる。そのための情報提供の方法を考えること。住民に危機感を持ってもらうことが必要。合併したからすべての問題が解決したわけじゃない。旧町時代の知恵を出して新たな取り組みが必要。
- ・職員からは改善案は出ても改革案は出ないのではないかと。職員と審議会の使い分けを上手にする必要がある。
- ・人件費が減っていない。職員の能力向上を図ることで、職員削減計画を立てることが先決。
- ・町民は合併すると楽になると思っていた。議会と審議会の連携が必要。重要な事業を絞るべきだ。
- ・庁舎内でスムーズに会話ができることが大事。
- ・歳入が増えないなら、歳出を減らすのは当然のこと。別の視点から、積極的に北栄町のブランド価値を高めることも必要。
- ・資料の公開と、町民の声を吸い上げる施策が必要。歳入を増やすため、旧国有財産の売り払いなど小さな努力も必要。
- ・行革は削減など縮み志向だけでなく、町が元気なるための取組が必要。職員の資質向上という観点は重要

確認事項

- 審議会の議事録、資料をホームページで公開すること。
- 次回は5月に開催。現地調査を併せて行うこととなった。